



## 今月の「クリルちゃん」

雨宿りクリルちゃん

梅雨の晴れ間に運よく大きい虹を見かけると、気分が上がクリル♪

学びセンター通信の第10号をお届けします。  
今号も学びセンターの最新ニュースなどをお伝えします。

## 教育実習でGoogleサービスを活用した授業実践が可能になりました！

GIGAスクール構想に対応したICT活用指導力を育成するため、教育実習生には教育実習期間中に少なくとも1回以上、ICT機器を活用した授業実践を行うことが課されています。コンピュータ利用教育や教育内容・方法論、各教科指導法などの学部授業で学んだICT活用スキルを教育実習のなかで大いに発揮し、学習指導要領を示す「主体的・対話的で深い学び」をつくることが期待されます。特に、GIGAスクール構想を実現するためには、1人1台情報端末とクラウドを活用することが欠かせません。そこで、2022年5月に附属学校園のセキュリティポリシーを改訂し、教育実習生（大学院生を含む）が附属学校園で専用のGoogleアカウントを用いてGoogle Classroomやスライド、スプレッドシートなどをはじめとするGoogleサービスを利用できるようになりました。

先日行われた教育実習Ⅱ（学部4年生）では、教育実習生たちがGoogleサービスを早速に活用していました。参観した長野中学校の授業では、Google Classroomの課題機能を用いてGoogleスライドで作成したワークシートを配布し、生徒1人1人の考えをClassroom上で一覧にして確認していました。教育実習生はこれを見て、手が止まっていたり、考えがまとまらずに困っているような生徒のところに行き、優しく声を掛けて個別指導を行います。これまでの机間巡視ではすべての生徒のノートを見て記録することは困難でしたが、Google Classroomを活用することで、より多くの生徒の考えを教育実習生が把握し指導に活かすことができました。これまでの教育実習とは異なるとても印象的な場面でした。（森下孟）



## 附属松本小学校 学びを止めないオンライン授業

新型コロナウイルスの第6波、まん延防止を受けて学校内での感染を極力抑えるため、附属松本小学校では2021年1月31日（月）からオンライン授業を行いました。主に使用したのはGoogle ClassroomやGoogle Meetです。

スタートして数日は「つながらない」「途中で回線が切断されてしまう」などの問題への対応が必要でしたが、1～2日でほとんど問題なくつながるようになりました。

家庭の事情でやむを得ず登校する児童がクラスの半数に達した場合は、教室を更に2つに分けることで密状態を緩和しました。登校する生徒が0というクラスもあり、感染におびえることなく、学びを止めない方策を実施することができました。低学年は、登校する児童が多い傾向にありました。

もし、以前のようにオンラインがない時代であれば、登校する児童と登校しない児童で学習の定着に差が出たと思います。

今後コロナがおさまることは一番の願いですが、このオンライン授業は、様々に応用できると思います。例えば、万が一の災害時やインフルエンザなどの場合です。

最初から全て完璧でなくても、出た課題を一つずつ乗り越えてより良い授業をつくっていきたいという願いを、私たち教職員も持ち続けていきたいです。

（附属松本小学校 山崎慶太先生）



オンライン授業3回目の様子

## 附属松本小学校 信州ESDコンソーシアム成果発表会

2022年2月5日、信州ESDコンソーシアムの成果発表会がオンラインで開催されました。ESD (Education of Sustainable Development) コンソーシアムとは、これから目指すべき持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のことで、新しい学習指導要領全体の基盤となる理念です。松本小学校からは4年西組（担任：若林史也教諭）が参加しました。

活動をまとめ、いよいよ発表会に向けた準備をしようという時期にコロナのレベルが上がり、オンライン授業に移りました。そのため、全員が集まって発表練習をする機会というのは一度もありませんでした。

発表会当日、登校してきた児童たちは、「久しぶりだね」というひとことから数分で元の通常の学級の様子へと戻っていきました。「緊張するね」という子もいれば、「カメラに話かけても緊張しないなあ」という子もいました。

当日は、情報機器担当の先生にも応援に加わっていただきました。画面が映らない、発表会場で映像が出力されていないというハプニングもありましたが、PCを替えたりキャプチャーを入れ替えたりすることで解決しました。

発表の様子を参観する保護者も、密にならないよう、2会場に分散してYouTubeの即時配信を参観していました。

児童にとって、大勢の人が画面越しに見つめる中で発表をしたことは大きな経験になったはずですが、ただ、児童たちの人生の中で、「避難所生活」はバーチャル（仮想）のままであってほしいと思っています。

（附属松本小学校 山崎慶太先生）



## 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター

TEL : 026-238-4242 メールアドレス : crilofc@shinshu-u.ac.jp

Webサイト : <https://cril-shinshu-u.info/>

## GIGAスクール県内サポートサイト

長野県内のさまざまなGIGAスクール情報をお届けしています。

Webサイト : <https://cril-shinshu-u.info/giga/>

